

NO.6



あやめ通信



こども版
9月号

あたらしい
新しい子どもの本



NEW

あたらしい
新しい本の紹介

ものがたり
物語の本・絵本

マーガレット・ワイズ・ブラウン『ぼくらはたけ』

アン・M・マーティン『ベビー・シッターズ・クラブ』

新井洋行『きらきら』

トルストイ『七つの星』

キラン・ミルウッド・ハーグレイブ『地図と星座の少女』

久米絵美里『嘘吹きネットワーク』

トルストイ

『七つの星』

ちっとも雨が降らなくて、川も泉も干上がって、草木も枯れてしまったある夜、一人の女の子が病気のお母さんのために水を探しに行きました。

やっと見つけたひしゃく1杯の水が…。

ちしき
知識の本

鹿島和夫『一年一組せんせいあのね』

戸部民夫『日本の神さま大図鑑』

大塚美加『すいぞくかんのおいしゃさん』

上條晴夫『スラスラ書ける読書感想文 6・6感想文』

新井洋行『かいじゅうポポリはこうやっていかりをのりきった』

あらい ひろゆき

新井洋行『かいじゅうポポリはこうやっていかりをのりきった』

本当は怒りたくなてないのに…。いつも怒ってばかりの自分が嫌なポポリの前に、いかりのマスターかいじゅうがあらわれて…。ポポリと一緒にいかりをコントロールしよう！

↑先月の新刊の一部を紹介します。↓今月のおすすめの1冊を紹介します。

こんげつ
今月の1冊

デビー・リヴィー 著

『わたしは反対！』

オススメ！

「平等のための」自分の意見を伝え続けてきたルース・ベイダー・ギンズバーグという女性のお話です。

「男じゃないと無理だ」とか「女の子はこうあるべき」とか、そういった考えが当たり前でなくなるように戦ってきたうちの一人がルースです。この本に深く書かれていていませんが、その時代に周りが思っている「当たり前」と戦うのはとてもつらく、難しいことだったのではないのでしょうか？



学文ニュース

北海道青少年のための200冊

「北海道青少年のための200冊」に選ばれた本のコーナーを作りました。

「北海道青少年のための200冊」では、北海道に住む子ども達に読んでほしい200冊の本が毎年選ばれています。

200冊のリストには、どんな本が選ばれたかだけでなく、その本が何年生にオススメの本か、小学生向けなのか中学生向けなのか、ということも書いてあります。ぜひリストを使って、自分にどんな本がオススメされているのか確かめてみてください。



↑先月学文であったできごとなどを紹介します。↓今月の学文の予定を紹介します。

9月のカレンダー

お休みの日：月曜日

空いている時間：朝10時～夕方6時

ミュージカル OG



9/10(日)

歌手を夢見て上京した二人の女性。

歌手人生の最後にかかる「ミラクル」とは？



"TIME"

9/24(日)

サクソフォンとピアノのコンサート。

ピアノ奏者の長内

さんは、今年で3回目のおしゃまんべちやうの長万部公演です。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
	お休み					